

※一部非公開

令和2年度入学試験問題
(推薦入試I・社会人入試)

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科
(昼間主コース・夜間主コース)

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、あとの各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

(沖 大幹, 『水の未来—グローバルリスクと日本』, 岩波書店, 2016年, 204~224 ページ,
抜粋・一部改変)

- 問 1 著者の述べる「持続可能性の構築」とは何か、300 字以上、400 字以内で要約しなさい。
- 問 2 著者の主張を地域社会に適用した場合に、地域社会の「持続可能性の構築」とは何か、あなたが現在関心を持っている社会問題を一つ取り上げながら、700 字以上、800 字以内で述べなさい。

令和2年度入学試験問題
(推薦入試Ⅰ・社会人入試)

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科
(昼間主コース・夜間主コース)

出題の意図

国際地域創造学部は、地域性と国際性を合わせた複眼的思考によって、「地域振興」、「産業振興」、「文化振興」に貢献できる人材の育成を目指している。この小論文では、本学部が示すアドミッション・ポリシーのうち、①地域社会について多様な学問的見地から興味を持ち、主体性をもって課題に取り組む姿勢、②地域社会および国際社会をめぐる多様な課題に対する関心、③21世紀型市民として必要な学際的教養を身に付ける意欲の有無を、持続可能性(サステナビリティ)に関する問いを用いて総合的に判断する。資料は、地球環境科学の立場から、地球環境(社会)の持続可能性の構築について述べられたものである。グローバルな視点から書かれた筆者の主張を理解した上で、地域社会へとスケールを置き換えた際に、地域社会の持続可能性とは何かを思考でき、自らの考えを論理的に示す力を有するかを問う問題となっている。